

環境経営レポート

【2024年度版】



目次

1. 組織の概要	3
2. 環境経営方針	4
3. 環境経営計画の実施体制	5
4. 環境経営目標	6
5. 環境経営計画と実施状況	7
・二酸化炭素排出量	8
・水使用量	11
・廃棄物の排出量	12
・化学物質使用量	13
・グリーン購入	14
・自らが生産・販売・提供する製品及びサービス	15
6. 環境経営計画の取組結果に対する評価	16
7. 次年度の目標	20
8. 代表者による全体の評価と見直し・指示	21

1. 組織の概要

【事業者名及び代表者名】 株式会社オークマ 代表取締役社長 大隈 賢一郎

【所在地】 本社／朝倉工場 〒838-1305 福岡県朝倉市菱野1548

甘木工場 〒838-0026 福岡県朝倉市柿原567

宝珠山工場 〒838-1702 福岡県朝倉郡東峰村大字福井964

【会社URL】 <http://www.o-kuma.co.jp>

【事業内容】 住宅用木製ドア及び造作材の設計・製造

【事業規模】



	全社合計	本社・朝倉工場	甘木工場	宝珠山工場
敷地面積	68,723m ²	22,451m ²	18,847m ²	27,425m ²
延床面積	29,110m ²	11,680m ²	6,432m ²	10,998m ²
従業員	197名	106名	42名	49名

【対象範囲】 全組織・全活動

環境経営方針

基本理念

株式会社オークマは、「快適な暮らしと価値ある製品創り」「伝統の継承と新たなる挑戦」「家族と地域に愛される会社作り」を掲げ、全従業員の環境負荷に対する意識高揚を図り、環境保全活動への取り組みを積極的に進め、持続可能な社会実現に努めます。

行動方針

- 環境に関する法規制を遵守します。
- リデュース・リユース・リサイクルに積極的に取り組み、処分量の最小限化と省資源化を推進します。
- 環境配慮型事業を積極的に推進します。
- 化学物質の適正な使用と環境負荷の少ない代替製品購入に努めます。
- 限りある資源の効率的な活用に努めます。
- 環境経営方針達成のために目標を設定し、具体的な環境活動計画を策定し、その状況の定期的な評価と見直しを行い、全員参加で継続的な改善を行います。

2019年4月1日（改訂）

株式会社オークマ
代表取締役社長

大隈 賢一郎

3. 環境経営計画の実施体制

EA21実施体制 2024年度

2024/4/1改訂

<体制>

環境経営システム 最高責任者		代表取締役社長 / 取締役副社長
環境経営システム 管理責任者		総務部 部長
推進委員会	<役員>	取締役副社長
	<本社 / 朝倉工場>	製造課 係長
	<甘木工場>	品質技術課 主事
	<宝珠山工場>	品質技術課 課長
事務局		品質技術部 マネージャー
管理責任者	<本社 / 朝倉工場>	朝倉工場 工場長
	<甘木工場>	甘木工場 課長
	<宝珠山工場>	宝珠山工場 次長
推進責任者	<本社 / 朝倉工場>	製造課 係長
	<甘木工場>	品質技術課 主事
	<宝珠山工場>	品質技術課 課長

<役割>

<環境経営システム最高責任者>

- 環境経営システム管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。当該責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。
- 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人材・資金・機器設備・技術技能を含む)を準備する。
- 環境経営に関する基本理念・長期戦略・基本方針を制定し、基本的な環境目標を設定する。
- 環境経営システムの構築・運用に関する情報を収集し、方針・目標をはじめ、システム全体の見直しを行い、必要であれば改訂を指示する。

<環境経営システム管理責任者>

- 環境経営に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために、環境経営に関する委員会組織を運営する。
- 環境経営システムの構築と運用を円滑に行い、最高責任者に見直しのための情報として、その構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。

<EA21推進委員会>

- 3ヶ月に1回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実施状況を審議する。

<EA21事務局>

- EA21文書及び記録類の作成・維持・管理。

<管理責任者>

- 自己の管理範囲内における管理責任者として、全員参画による環境経営システムの運用及び管理の責務を負い、部署内の必要な人材育成、パフォーマンスの向上を図る。

<推進責任者>

- 自己の管理範囲内における環境推進責任者として、全員参画による環境経営システムの運用及び管理の責務を負い、部署内の担当者の選任・必要な教育訓練、パフォーマンスの向上を図る。

4. 環境経営目標

環境経営目標（中期2021～2023目標及び2024年度目標）

項目	評価単位	2020年度 (基準値換算)	2021年度 目標	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
【1】 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	1,816,724	1,798,557	1,780,390	1,762,222	1,680,633
		基準	1%削減	2%削減	3%削減	2023年度基準から1%減
【2】 水使用量の削減	m3	7836	7758	7680	7602	8060
		基準	1%削減	2%削減	3%削減	2023年度基準から1%減
【3】 廃棄物排出量の削減	ton	833	825	817	809	770
		基準	1%削減	2%削減	3%削減	2023年度基準から1%減
【4】 化学物質使用量削減	kg		❖ 化学物質含有量の少ない代替品への変更を積極的に進めていく			
【5】 グリーン購入	品目		❖ 発注時の代替品を常に検討する	❖ 発注時には代替品を常に検討する	❖ 発注先を複数にして検討品目の幅を広げる	❖ 発注先を複数にして検討品目の幅を広げる
【6】 自らが生産・販売・提供する製品及びサービス			❖ 再生資源を多用できる設計開発 ❖ 地域への貢献活動推進	❖ 再生資源を多用できる設計開発を進める ❖ 地域への貢献活動推進	❖ 設計時の資材構成を常に見直す ❖ 地域貢献活動の継続	❖ 設計時の資材構成を常に見直す ❖ 地域貢献活動の継続

※2015年度よりCO2換算係数の変更（調整後排出係数＝0.598kg-CO2/kWh 九州電力2014年度実績）

作成日：2024年4月1日

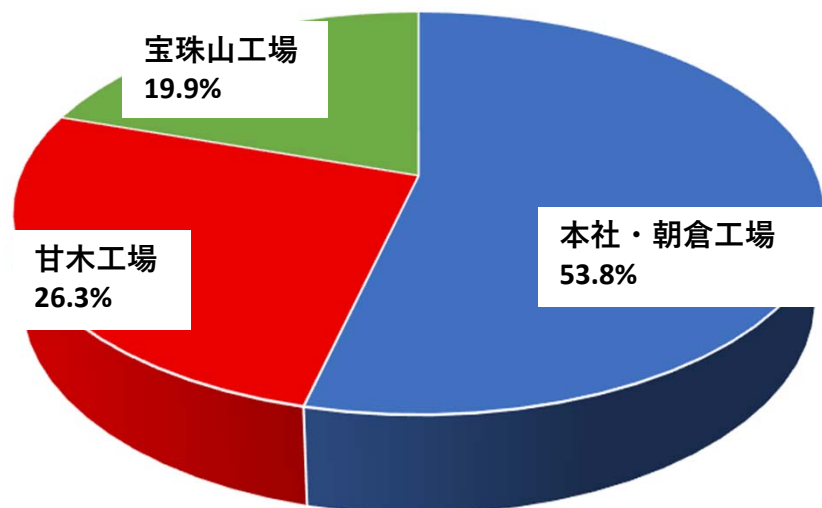
代表取締役社長 大隈 賢一郎

5. 環境経営計画と実施状況

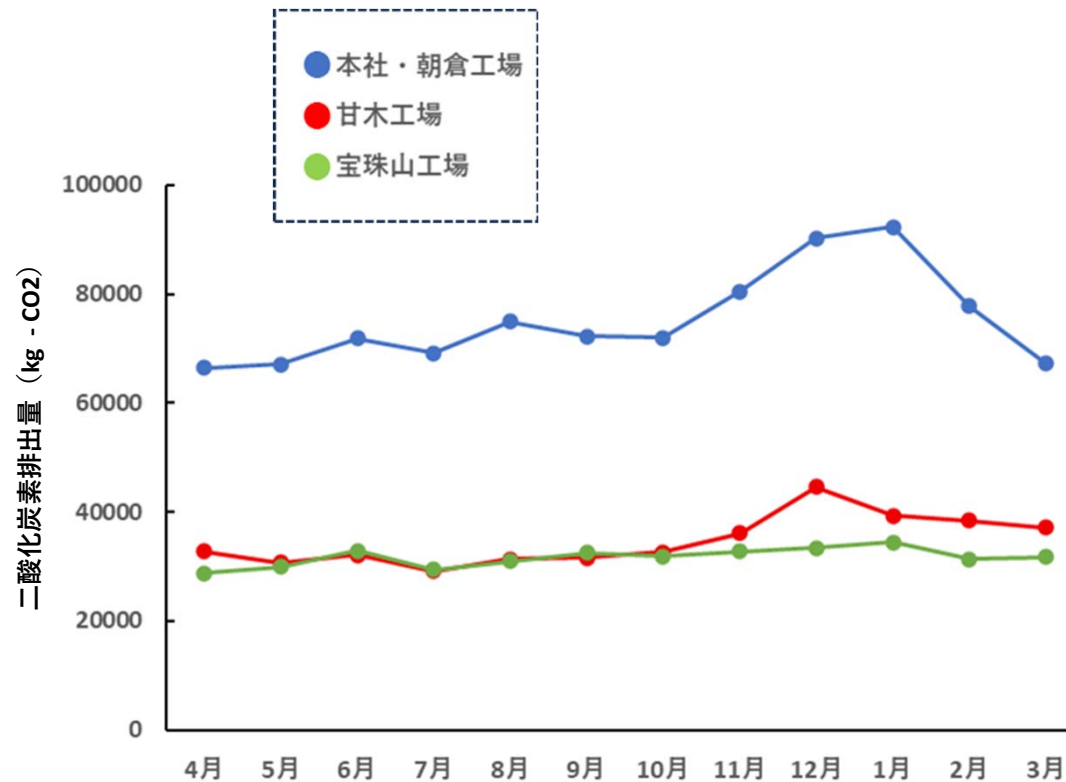
			2022年度			2023年度			2024年度		
			目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率
二酸化炭素排出量	電気使用量 単位：kW	本社・朝倉工場	1,254,326	1,265,251	99.1%	1,241,484	1,282,530	97.0%	1,269,703	1,343,754	94.5%
		甘木工場	809,366	705,418	114.7%	801,107	658,561	122.0%	651,977	723,799	90.1%
		宝珠山工場	568,391	646,507	87.9%	562,590	548,739	103.0%	543,252	512,157	106.1%
		合計	2,632,083	2,617,176	100.6%	2,605,181	2,489,830	104.6%	2,464,932	2,579,710	95.6%
	化石燃料 単位：L	本社・朝倉工場	52,118	40,699	128.1%	51,585	54,640	94.0%	54,093	55,468	97.5%
		甘木工場	7,324	8,922	82.1%	7,249	8,930	81.0%	8,841	11,093	79.7%
		宝珠山工場	23,680	21,995	107.7%	23,438	20,421	115.0%	20,216	16,274	124.2%
		合計	83,122	71,616	116.1%	82,272	83,991	98.0%	83,150	82,835	100.4%
	合計 (kg-CO2)		1,780,390	1,742,541	102.2%	1,762,222	1,697,609	104.0%	1,680,633	1,748,396	96.1%
	水使用量	単位：m3	本社・朝倉工場	4,402	4,235	103.9%	4,357	4,575	95.2%	4,529	5,006
甘木工場			3,138	3,381	92.8%	3,106	3,495	88.9%	3,460	4,557	75.9%
宝珠山工場			140	189	73.9%	138	72	192.0%	71	71	100.4%
合計 (m3)		7,680	7,805	98.4%	7,602	8,142	93.4%	8,060	9,634	83.7%	
廃棄物排出量	単位：t	本社・朝倉工場	340	333	102.2%	337	310	109.0%	307	302	101.5%
		甘木工場	329	363	90.7%	326	359	91.0%	356	373	95.5%
		宝珠山工場	148	232	63.6%	146	109	135%	108	114	94.0%
	合計 (t)		817	928	88.0%	809	778	104.0%	770	789	97.6%

5. 環境経営計画と実施状況：二酸化炭素排出量

二酸化炭素排出量



各工場別が占める二酸化炭素排出割合



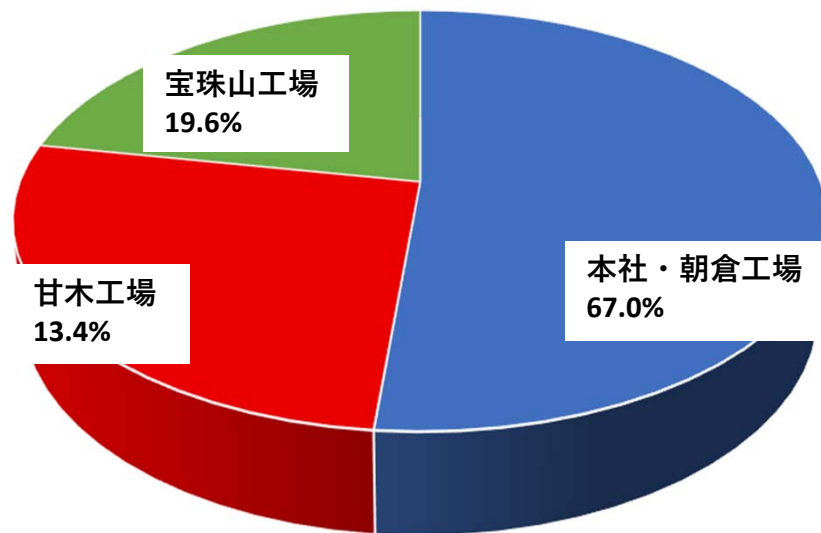
工場別1か月ごとの二酸化炭素排出量推移

工場別1か月ごとの二酸化炭素排出量

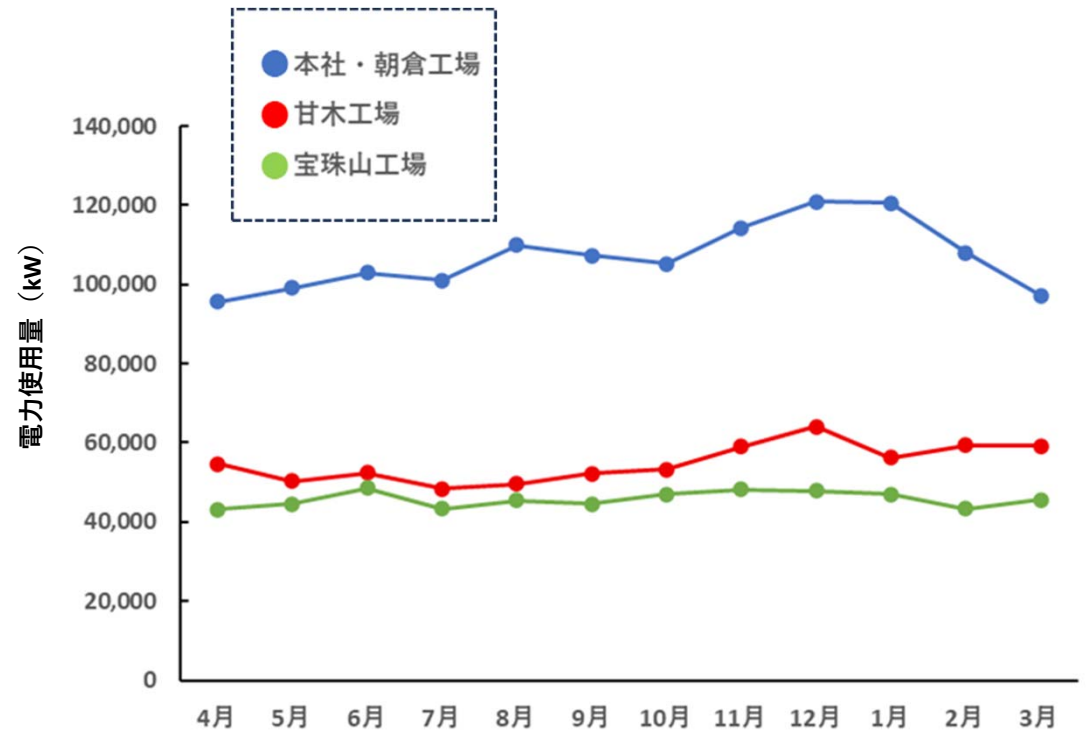
	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全社	kg-CO2	115,683	126,944	128,651	149,532	133,001	146,259	155,775	170,327	168,531	161,278	155,095	137,320	1,748,396
本社朝倉		60,465	67,214	68,940	83,024	74,392	76,401	80,740	89,747	88,576	89,588	86,259	75,135	940,482
甘木		29,800	33,328	34,484	37,252	32,300	38,197	40,037	42,838	46,215	45,957	44,506	35,650	460,565
宝珠山		25,418	26,401	25,228	29,256	26,309	31,661	34,997	37,742	33,739	25,733	24,330	26,535	347,349

※二酸化炭素排出量は電力と化石燃料の使用量から算出

5. 環境経営計画と実施状況：二酸化炭素排出量（電力使用量）



各工場別が占める電力使用量割合

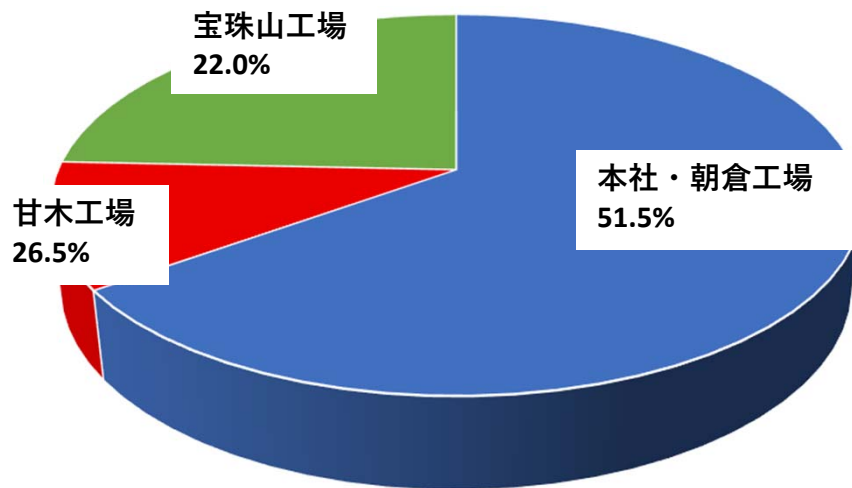


工場別1か月ごとの電力使用量推移

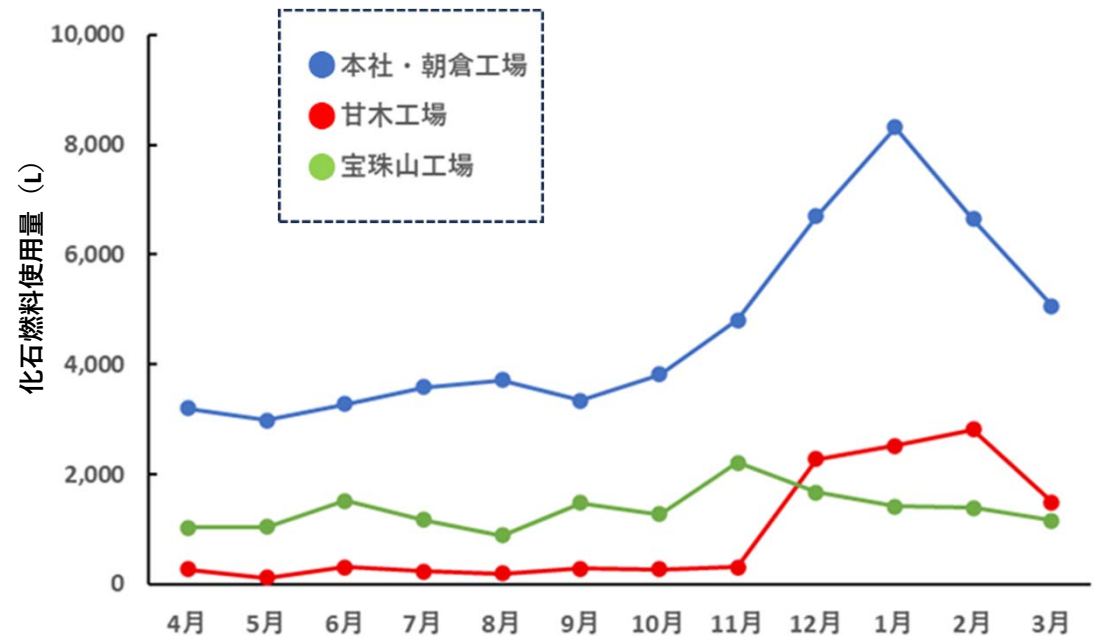
工場別1か月ごとの電力使用量

	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全社	kwh	193,465	194,089	203,938	192,857	204,922	204,118	205,558	221,521	232,914	223,875	210,641	201,932	2,489,830
本社朝倉		95,675	99,194	102,997	101,063	109,962	107,401	105,247	114,265	120,952	120,637	107,954	97,183	1,282,530
甘木		54,675	50,294	52,405	48,434	49,550	52,195	53,227	59,029	64,102	56,203	59,297	59,150	658,561
宝珠山		43,115	44,601	48,536	43,360	45,410	44,522	47,084	48,227	47,860	47,035	43,390	45,599	548,739

5. 環境経営計画と実施状況：二酸化炭素排出量（化石燃料使用量）



各工場別が占める化石燃料使用量割合



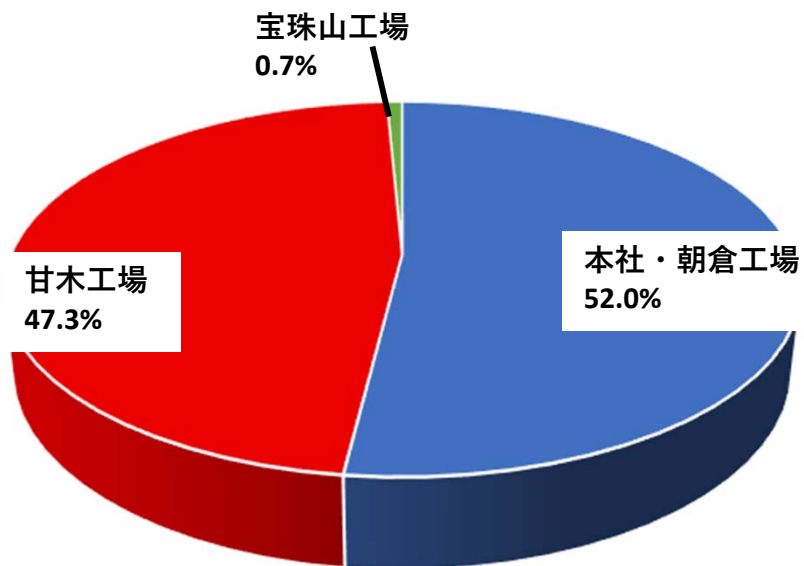
工場別1か月ごとの化石燃料使用量推移

工場別1か月ごとの化石燃料使用量

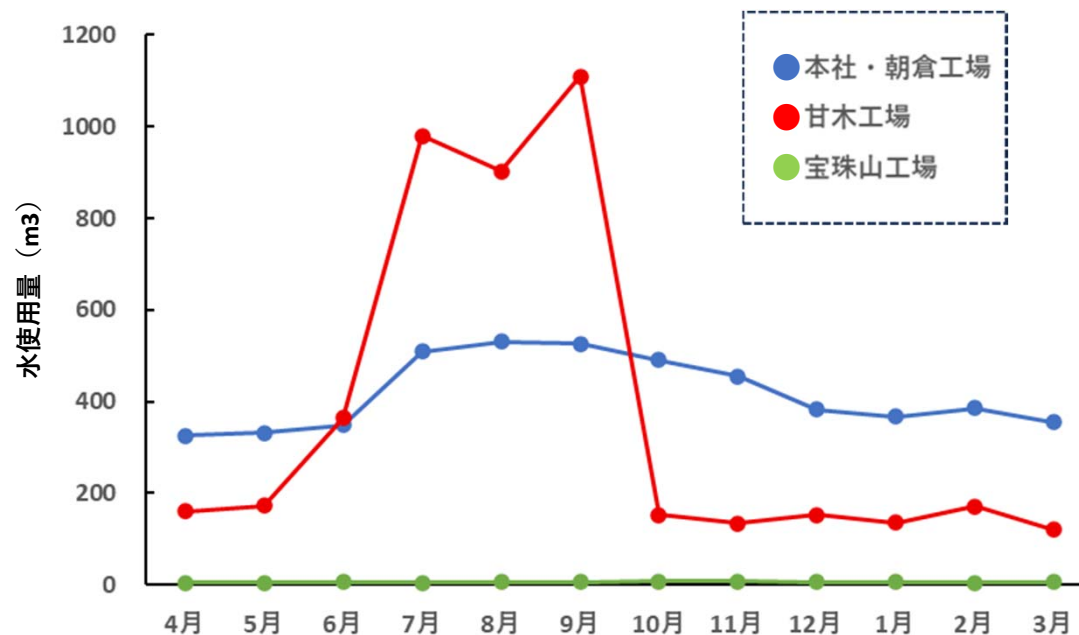
	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全社	L	4,511	4,136	5,121	5,001	4,789	5,106	5,359	7,338	10,653	12,258	10,854	7,709	82,835
本社朝倉		3,206	2,981	3,284	3,590	3,712	3,337	3,821	4,811	6,697	8,319	6,648	5,062	55,468
甘木		273	111	315	234	188	286	269	309	2,278	2,522	2,816	1,492	11,093
宝珠山		1,032	1,044	1,522	1,177	889	1,483	1,269	2,218	1,678	1,417	1,390	1,155	16,274

5. 環境経営計画と実施状況：水使用量

水使用量



各工場別が占める水使用量割合



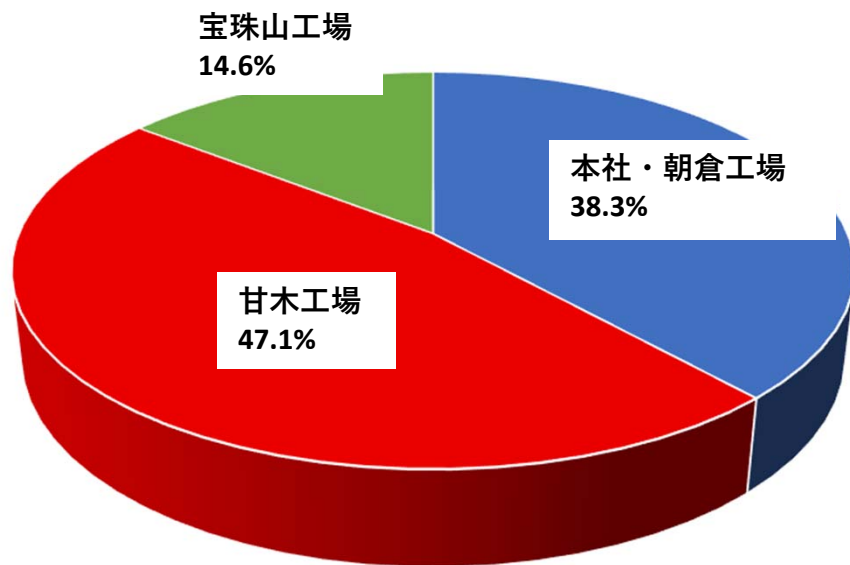
工場別1か月ごとの水使用量推移

工場別1か月ごとの水使用量

	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全社	m3	492	509	720	1494	1438	1641	652	597	541	509	562	480	9634
本社朝倉		326	332	349	509	530	526	491	455	382	367	386	354	5006
甘木		161	173	364	980	902	1109	153	134	153	136	172	120	4557
宝珠山		5	4	7	5	6	6	8	8	6	6	4	6	71

5. 環境経営計画と実施状況：廃棄物の排出量

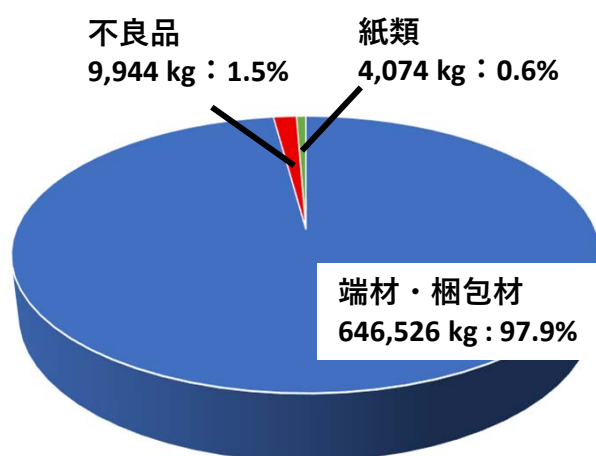
廃棄物の排出量



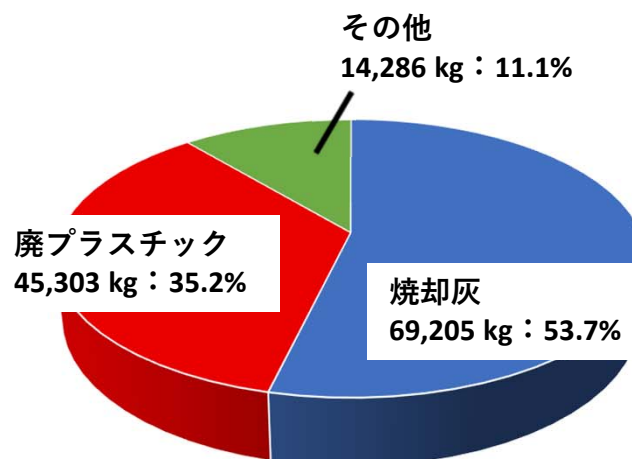
各工場別が占める廃棄物排出量の割合

工場別の年間廃棄物発生量と内訳

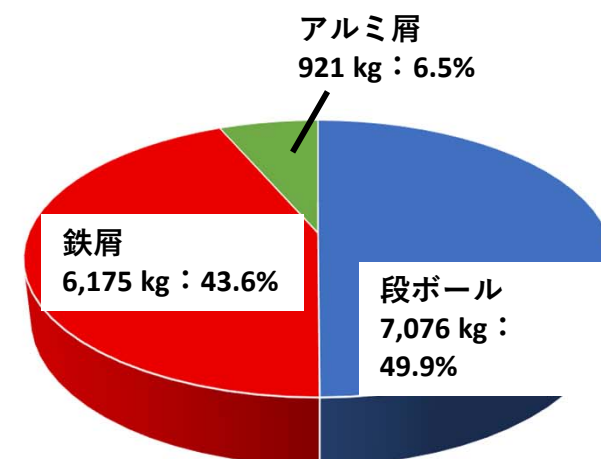
	単位	単純焼却	産業廃棄物	合計
全社	ton	660.5	128.8	789.3
本社朝倉		287.3	14.9	302.1
甘木		322.7	50	372.7
宝珠山		50.6	63.9	114.5



左：単純焼却内訳



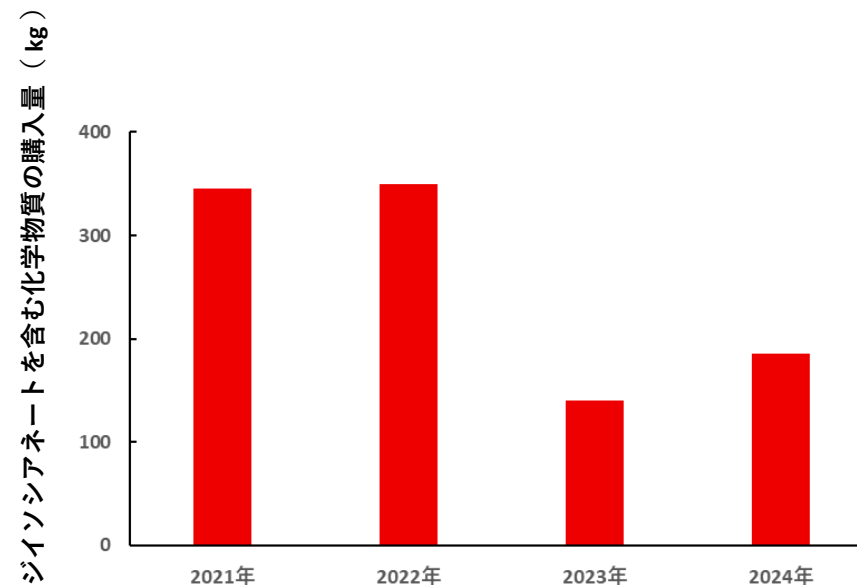
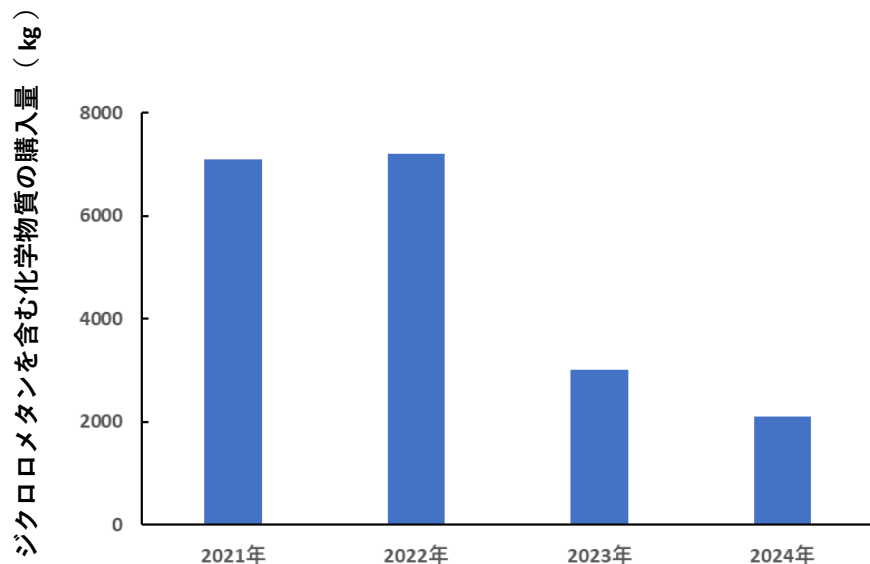
中：産廃処理内訳



右：リサイクル内訳

5. 環境経営計画と実施状況：化学物質使用量

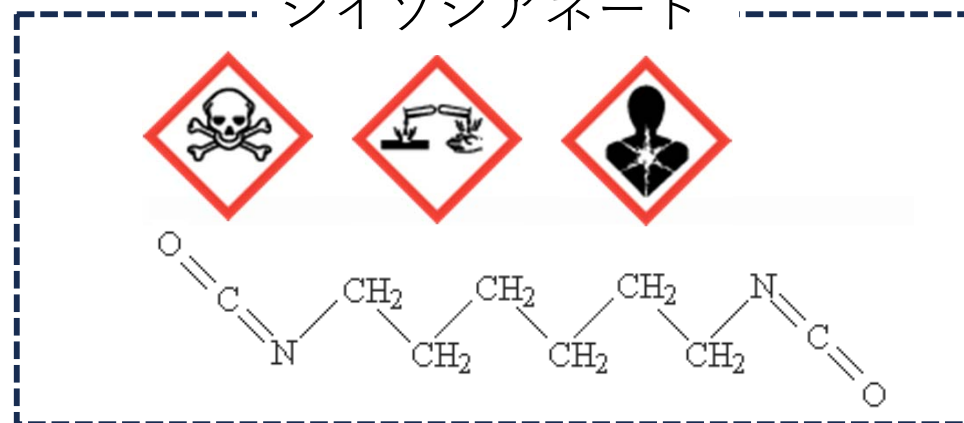
化学物質使用量



ジクロロメタン



ジイソシアネート



(1) ・製品安全データシート、「ジクロロメタン (別名二塩化メチレン)」
<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen/gmsds/0141.html> (参照2025.07.11)

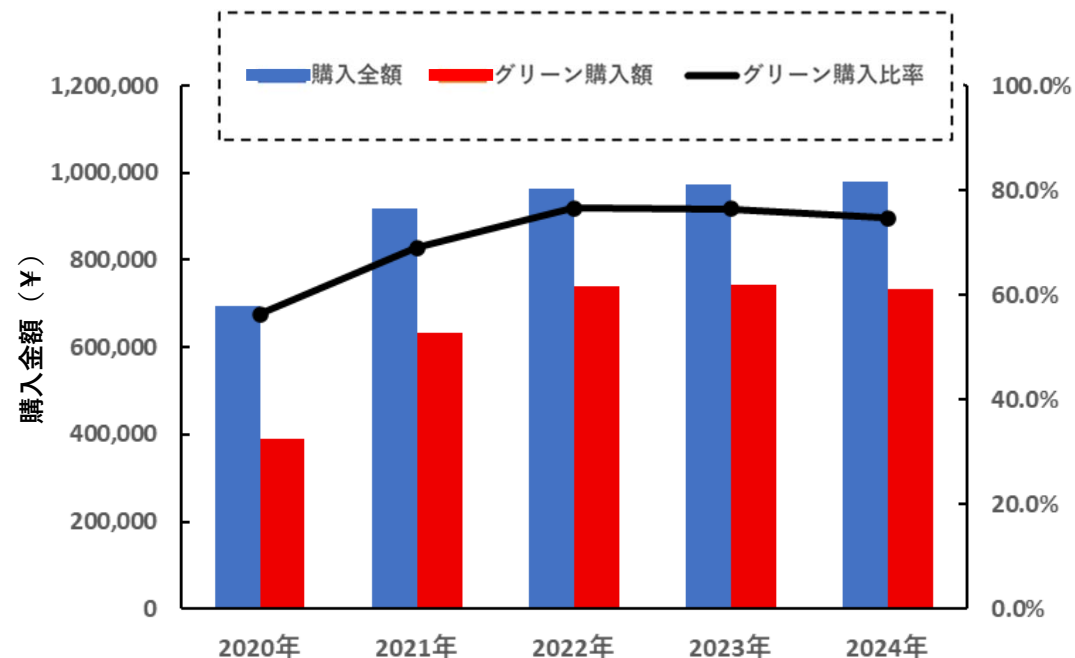
(2) ・製品安全データシート、「ヘキサメチレン=ジイソシアネート」
<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen/gmsds/0066.html> (参照2025.07.11)

5. 環境経営計画と実施状況：グリーン購入

グリーン購入



グリーン・エコ商品一例



グリーン購入額推移

年度毎のグリーン購入額

	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
購入金額	¥	693,439	918,279	964,537	973,049	980,180
グリーン購入額		390,470	633,932	738,783	743,387	732,569
グリーン購入比率		56.3%	69.0%	76.6%	76.4%	74.7%

(1) ・キングジム株式会社. 「「テプラ」Proテープカートリッジ」.
<https://www.kingjim.co.jp/products/tepra/pro-cartridge.html> (参照2025.07.11)

(2) ・カウネット コピー用紙. 「コピー用紙 スタンダード」
<https://www.kaunet.com/kaunet/goods/50122639/> (参照2025.07.11)

5. 環境経営計画と実施状況：自らが生産・販売・提供する製品及びサービス

地域貢献



拝啓 今年もまた梅雨の季節がやってきましたが、梅オークマのびび様はいつもお過ごしでしょうか。

先日、私たちの職場体験のために、貴重なお時間をさいいただき、ありがとうございました。仕事をしてみて、私かと思ってる以上に大変で、たけど、作業がひとくくり終わったときの達成感が、たまにはあります。

私かミスしても、おましの言葉が、てくわて、気持ちも楽になりました。ありがとうございました。今回の職場体験で、学んだことを、これから学校や日常に生かして、いきなりたいと思います。本当にありがとうございました。

令和七年六月五日
朝倉市立比良松中学校二年
梅オークマ御中

敬具

拝啓 大変お世話になりました。梅オークマの仕事は難しいものもありましたが、大変やりがいのある仕事でした。特に木の板を削ったり、ふりたりするのは、やりがいを感しました。また木の板でドアの一部を作るのも、難しく、たけれど、やりがいを感してやる気の出る仕事でした。

仕事をしたりする中、親切にみなさんが接してくださったので、とても感謝しています。親切にみなさんが接してくれたいな、という気持ち、図が今ふくらんで、きます。長いようで、短い二日間でしたが、充実した体験となりました。ありがとうございました。

令和七年六月五日
朝倉市立比良松中学校二年
梅オークマ御中

敬具

左下：地域清掃活動 右：中学生の職場体験感謝状

1. 二酸化炭素排出量の削減

◆ 排出量削減 … 評価 ▲

- 電力の使用量は宝珠山工場以外で昨年と比較して大きく増えており、生産量の増加により使用量も必然的に増え、目標も未達となっている。
- 化石燃料も電力使用量と同様の内容によって未達成となっている。
- 今後は無駄な設備稼働が無いのか、細かく監視をしていく必要がある

2. 水使用量の削減

◆ 使用量削減 … 評価 ▲

- 今年度の夏期も酷暑が長く続き、水使用量が大きかった。従業員の健康のためにも、水の使用を制限することは現実的に不可能であるため、水使用量の目標を達成することは非常に困難であると考えられる。
- 5月までに工場屋根のスプリンクラーや工場内の散水設備の事前点検を実施し、漏水等による水の無駄遣いが発生していないことを確認した。

3. 廃棄物排出量の削減

◆ 排出量削減 … 評価 ▲

- 工場のレイアウト・設備更新により、産業廃棄物量の増加があった。
- 焼却端材のバイオマス燃料化を計画しており、新たな業者選定を進めている。
- 現状は単純焼却している端材の一部を微生物資材として転用する試みを進めている。

4. 化学物質使用量削減

◆ 適正使用 … 評価 ○

- 近年、ジクロロメタンとジイソシアネートを含む接着剤・溶剤の使用料量を削減するよう努力している。代替品の選定が順調に進んでおり、確実に成果を得ている。
- 化学物質のリスクアセスメントは継続して実施していかなければいけない。
- 新規製品が立ち上がる際には、どのような資材が必要なのか確認して、化学物質を含有しないものか含有量の少ないものを選定するようにした。

6. 環境経営計画の取組結果に対する評価

5. グリーン購入

◆ 購入比率の維持 … 評価 ○

- 購買先を増やし比較検討の幅を広げた効果が、購入比率アップに繋がっている。
- 近年の購入比率は80%程度で安定しており、継続していくことが重要であると考えている。

6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービス

◆ 再生資材の積極採用 … 評価 △

- 再資源化事業も進みつつあるが、拡販にまでは至らず足踏み状態である。
- 社外からの廃棄材を加工して、製品の基幹部材に利用する商品開発が進んできた。

◆ 地域への貢献活動 … 評価 ○

- 地元小学校や図書館への図書券寄贈を継続して実施している。
- 中学校からの職場体験を実施している。
- 工場周辺の定期的な清掃と、周辺農道などの草刈りを継続して実施している。

6. 環境経営計画の取組結果に対する評価：法令順守状況

対象となる環境関連法令と遵守状況
株式会社オークマ 2024年度

環境関連法規	適用内容		適用工場			遵守状況
			朝倉	甘木	宝珠山	
大気汚染防止法	ボイラー施設	測定義務	○	—	—	○
		報告義務	○	—	—	○
ダイオキシン類	焼却炉	測定義務	○	○	○	○
対策特別措置法		報告義務	○	○	○	○
廃棄物処理法	作業廃棄物の保管基準		○	○	○	○
	管理票の交付、写しの保管		○	○	○	○
	管理票の交付等の状況報告		○	○	○	○
化管法(PRTR法)	指定化学物質の排出量等の把握及び届出		○	○	○	○
労働安全衛生法	有機溶剤	作業環境測定	○	○	—	○
		リスクアセスメント	○	○	—	○
		健康診断	○	○	○	○
消防法	危険物貯蔵所	届出義務	○	○	○	○
フロン排出抑制法	簡易点検	保存義務	○	○	○	○
浄化槽法	浄化槽	点検	—	○	○	○

【違反・訴訟等】

上表の法規制について確認した結果、全ての適用法令を遵守しており、関係機関等からの違法の指摘も無く、訴訟等もありません。

7. 次年度の目標

環境経営目標(中期2024～2026目標及び2025年度目標)

項目	評価単位	2023年度 基準	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
【1】 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	1,697,609	1,680,633	1,663,657	1,646,681
		基準	1%削減	2%削減	3%削減
【2】 廃棄物排出量の削減	ton	778	770	762	754
		基準	1%削減	2%削減	3%削減
【3】 水使用量の削減	m3	8142	8060	7979	7897
		基準	1%削減	2%削減	3%削減
【4】 化学物質使用量削減	kg		❖化学物質含有量の少ない代替品への変更を積極的に進めていく	❖化学物質含有量の少ない代替品への変更を積極的に進めていく	❖化学物質含有量の少ない代替品への変更を積極的に進めていく
【5】 グリーン購入	品目		❖発注先を複数にして検討品目の幅を広げる	❖発注先を複数にして検討品目の幅を広げる	❖発注先を複数にして検討品目の幅を広げる
【6】 自らが生産・販売・提供する製品及びサービス			❖設計時の資材構成を常に見直す ❖地域貢献活動の継続	❖設計時の資材構成を常に見直す ❖地域貢献活動の継続	❖設計時の資材構成を常に見直す ❖地域貢献活動の継続

※2015年度よりCO2換算係数の変更(調整後排出係数=0.598kg-CO2/kWh 九州電力2014年度実績)

作成日:2025年4月1日

代表取締役社長 大隈 賢一郎

代表者による全体評価と見直し及び指示

■環境経営方針

環境経営マネジメントシステムは継続して機能していると思われるも、活動内容に手詰まり感も感じ取れます。環境改善活動にも通常以上に取り組み、新たな活動を見出してもらいたい。活動実績だけを見れば安定しているように感じるが、手詰まり感からか具体的活動アイテムが不足しているように思われる。2030年度まであと5ヶ年、まだ遅くはないので活動アイテム発掘とその推進に来期以降も積極的に取り組んでももらいたい。

■環境経営目標及び環境経営計画

前期同様の指摘となるが、全体的に見れば各工場とも環境経営目標及びその計画と実績の乖離が目立たなくなってきた。但し、推進項目によっては計画との乖離が大きい内容も見受けられる。その点について、来期はもう少し踏み込んで各工場ともに計画立案を進めてほしい。また来期は電力供給先の変更、ガソリン単価などの落ち着きで、コスト面の負担は少し抑えられると思うが、仕事量は確実に前期比増が見込まれていることから、より一層の生産性向上に意識を向けてもらいたい。

■実施体制

前期にも指摘したとおり、次代を見据えた体制の再構築を積極的に進めていくべきだと考えます。少々マンネリ傾向にある体制に新たな風を吹き入れ、環境の変化にスピードをもって対応でき得る体制づくりを計画的に進めてもらいたい。